



環境経済・政策学会 2019年福島大会 プログラム・ガイドブック

Society for Environmental Economics and Policy
Studies (SEEPS) 2019 Annual Conference
Program Guidebook

2019年9月27日(金)～29日(日)

大会会場／福島大学 S講義棟・L4教室

交流会会場／ウェディング・エルティ

エクスカーション／福島県飯舘村

主催◎環境経済・政策学会2019年大会実行委員会
環境経済・政策学会

後援◎国立大学法人 福島大学、福島市、福島県教育委員会

目次(Contents)

ごあいさつ(Greetings)	2ページ
2019年大会プログラム詳細(Detailed Program)	4ページ
9月27日(金) 11:45-19:00 エクスカーション	4ページ
9月28日(土) 9:00-11:00 共通論題口頭セッション I	5ページ
9月28日(土) 11:00-11:45 ポスターセッション	9ページ
9月28日(土) 12:30-14:30 共通論題口頭セッション II	9ページ
9月28日(土) 14:45-16:45 企画セッション	13ページ
9月28日(土) 17:00-17:45 総会	16ページ
9月28日(土) 19:00-21:00 交流会(懇親会)	16ページ
9月29日(日) 9:00-11:00 共通論題口頭セッション III	17ページ
9月29日(日) 11:15-11:45 授賞式	21ページ
9月29日(日) 13:00-15:15 公開シンポジウム	21ページ
9月29日(日) 15:30-17:30 公開企画セッション	22ページ
表紙の写真の説明(Front Page Photos Explanation)	25ページ
セッションの進行ルール(Session Rule)	26ページ
大会会場について(On Conference Place)	27ページ
大会会場へのアクセス(Access to Conference Place)	27ページ
大会会場の配置等(Conference Place Layout, etc)	27ページ
大会期間中における大会本部と大会参加者の皆様の間連絡について	27ページ
大会会場での無線LAN接続方法(How to use Wifi in Conference Place)	28ページ
昼食・軽食・飲物等(Lunch, Snacks, Beverages, etc)	28ページ
交流会(懇親会)会場へのアクセス(Access to Banquet)	30ページ
アンケートご記入のお願い(Request on Questionnaires)	30ページ
2019年大会 プログラム委員会・大会実行委員会(2019 Conference Committee)	31ページ
大会会場地図(Conference Place Map)	裏表紙の裏
大会全体スケジュール表(Program Overview)	裏表紙

<表紙の写真：被災地域における農林水産業の現状>

(上)相馬港

(中)川内村の里山

(下)広野町の稲穂が実った水田

それぞれの写真の詳しい説明は、「表紙の写真の説明」の欄(25ページ)にあります。

なお、本冊子では、敬称略で表記させて頂いております。

ごあいさつ(Greetings)

環境経済・政策学会 会長(2018-2019年度)

東北大学大学院経済学研究科 日引 聡

(SEEPS President, Akira Hibiki)



今年で、東日本大震災以降、8年が経過しました。震災の1年半後、大きな被害の爪痕を残す状態で、東北大学にて大会が開催され、多くの会員が、学会報告をされるとともに、被災地の状況を視察されました。今回の東北地方での大会開催は、それ以来となります。その後、どのように復興が進んだのか、残された課題は何なのかについて、会員の皆様に少しでも見ていただく機会を作りたく、今回、福島大学の皆様にお願ひし、大会を開催することになりました。このような機会を通じて、私たちは研究者として、どのように現実の問題解決に貢献していけるのかを考えていただけたらと思います。また、近年、韓国環境経済学会および台湾環境資源経済学会との学術交流が始まりました。今回、両学会から研究者を招待し、はじめて、3学会合同セッションを企画しました。さらには、海外からの研究者との議論を促進するために、プログラム委員会のご努力もあり、全45セッションのうち11の英語セッションが設けられました。研究環境が国際化する昨今、今後、当学会が国際的な学会として発展していくためにも、多くの若い研究者が、今後、英語での研究発表を目指して研究に取り組んでいただくことを期待しています。

福島大学 学長 中井 勝己

(Fukushima University President, Katsumi Nakai)



環境経済・政策学会2019年大会を福島大学で開催いただき御礼申し上げます。

2011年3月の東日本大震災・福島第一原発事故は大地震・大津波・放射能汚染という世界に類を見ない「複合災害」でありました。8年6ヶ月の歳月は、「複合災害」の記憶が薄れていくという「風化現象」を広げている一方で、福島県産品への「風評被害」が根強く残っています。

放射性物質を取り除く「除染」作業はこの8年間継続され、空間放射線量が引き下げられた場所から順次「避難解除」され、この春には全町避難を余儀なくされた大熊町(原発立地町)の一部が「避難解除」され、町役場が帰還しました。「除染」作業の進展に伴って大量の「除染廃棄物」が発生し、「除染廃棄物」の「仮置き場」そして「中間貯蔵施設」が大きな環境問題となってきました。

本大会参加者の皆様に、「複合災害」や「除染廃棄物」など福島の課題を考えていただける機会になれば幸いです。

環境経済・政策学会2019年大会 プログラム委員長

広島大学大学院国際協力研究科 金子 慎治

(SEEPS 2019 Program Committee Chair, Shinji Kaneko)



本大会のプログラムでは、いくつかの学会初の試みが埋め込まれています。第一に、過去最多となる20の企画セッションです。福島での開催ということもあり、そのうち約半数が東日本大震災・福島第一原発事故に関するテーマです。そして、これらの企画セッションは学会初の試みとして一般に公開という形で開催されます。環境研究における超学際研究の重要性が増しつつある中で、学会としてこうした取組に挑戦することは大きな意義があると考えます。

第二に、常務理事会主催で開催される2つのInternational Sessionに参加される海外からの参加者の依頼を受け、英語での共通論題の口頭発表セッションを増やすべく、登録フォームの報告言語の選択肢に「どちらでもよい」を設け、できるだけ英語での報告をお願いしたところ、「英語」での申請が11件、「どちらでもよい」での申請が件数26件ありました。おかげさまで、学会初となる大会を通じてすべてのセッションを英語で完結する会場が3つも設置できました。大学の国際化や研究成果の国際発信が求められる中、こちらも大きな一歩を踏み出したと言えるのではないのでしょうか。

環境経済・政策学会2019年大会 実行委員長

福島大学経済経営学類 沼田 大輔

**(SEEPS 2019 Local Organizing Committee Chair,
Daisuke Numata)**



本大会では、様々に新しい試みを行っております。その一つが、大会プログラム冊子におけるごあいさつの欄を設けたことです。いかがでしょうか。

日引会長から昨年8月末に環境経済・政策学会2019年大会を福島大学で開催したいという強いご要望を頂きました。私が大学院生のお世話になっている環境経済・政策学会年次大会を、本務校で開催したいという気持ちも後押しして、お引き受けいたしました。

それから約1年、2019年大会のため、福島大学内外の多くの皆様のご協力を頂き、準備を重ねてまいりました。日引会長から強いご要望のあった福島をフィールドにしたエクスカージョンをはじめ、年次大会事前登録システムを駆使した大会受付、懇親会を交流会と改称しての開催など、皆様のご協力のおかげさまで何とか実現の道筋を付けられたかと思っています。

2019年大会が無事に成功すべく、大会期間中もベストを尽くす所存です。2019年大会を通じて、皆様の研究交流が促進されますこと、また、2019年大会および福島を皆様に大いに楽しんで頂きたく思っています。どうぞよろしく願いいたします。

2019年大会プログラム詳細(Detailed Program)

9月27日(金) 11:45-19:00 エクスカーション(Excursion)

「福島県飯舘村の現状と今後の展望」【エクスカーションへの事前申込の方のみ】

12:00 福島駅西口バスプール 出発

- ・バス車内等で、東京電力福島第一原子力発電所事故以前から飯舘村の地域づくりに関わられてきた守友裕一先生(元福島大学教授・宇都宮大学名誉教授)に同行頂き、お話し頂きます。

13:00-17:15 現地視察・ヒアリング

(1)飯舘村関根・松塚行政区集会場にて

- ・飯舘村松塚行政区の元区長の方から
 - －集落の帰還状況、土地利用計画、営農再開状況、水田放牧等について、現地を見学しながら、お話を伺います。
- ・飯舘村役場職員の方から
 - －村内復興拠点の土地利用構想と進捗状況、営農再開に関する支援事業および再開状況、特定復興再生拠点区域復興再生計画、帰村状況、移住定住支援、現在直面している課題等についてお話を伺います。

(2)飯舘村大久保・外内行政区集会場にて

- ・大久保・外内行政区の現区長の方から
 - －集落の帰還状況、営農再開状況、不耕起栽培や穀物生産について、試験栽培の現場を見学しながら、お話を伺います。

(3)道の駅 までい館(飯舘村深谷)にて

- ・飯舘村議会議員の若手の方から
 - －復興予算で新設された施設等を見学しながら、復興における課題と、新たに取り組まれている漆栽培について、お話を伺います。

19:00 福島駅西口バスプール到着・解散

※本エクスカーションの趣旨等の詳細は、2019年大会ホームページの本エクスカーションの案内 <http://www.seeps.org/meeting/2019/excursion20190725jp.pdf>、あるいは、公開シンポジウム・企画セッションの予稿集(9月29日12時30分よりL4教室前で配付予定)をご参照ください。

9月28日(土) 9:00-11:00 共通論題口頭セッションI (Oral Session I)

セッション名が英語表記のA会場からC会場における使用言語は英語です。

各報告の要旨は、<http://www.seeps.org/meeting/2019/submit/program.html> からご覧頂けます。

Non Market Valuation(English Session) A会場(S11教室)

座長：Shigeru Matsumoto(Aoyama Gakuin University)

- 1 Spatial Analysis of the Value of Whaling and Whale Conservation in Japan
○Mihoko Wakamatsu(Kyushu University)・中村寛樹(中央大学)・
Shunsuke Managi(Kyushu University)
討論者：星野匡郎(早稲田大学)
- 2 Do Households in Developing Country Choose Energy Efficient Air Conditioner?: Evidence from the Philippines
○中井美和(早稲田大学)・Majah-Leah Ravago(Ateneo de Manila University)・
宮岡洋一(早稲田大学)・齋藤潔(早稲田大学)・有村俊秀(早稲田大学)
討論者：松本茂(青山学院大学)
- 3 The Preference Evaluation of Offshore Wind Power Replace of the Nuclear Power
○Ping-Han Chung(National Tsing Hua University, Taiwan)・
Yawen Chiueh(National Tsing Hua University, Taiwan)
討論者：中井美和(早稲田大学)
- 4 Consumer Behavior to Support the Disaster Region and Altruistic Perception
○有賀健高(埼玉大学)
討論者：横尾英史(一橋大学)

Asia and Developing Countries (English Session) B会場(S12教室)

座長：Shunsuke Managi(Kyushu University)

- 1 Water Reform, Private Sector Participation and Child Health in China
○楊潔(神戸大学)・Kenji Takeuchi(Kobe University)
討論者：籠橋一輝(南山大学)
- 2 The Impact of Free Distribution of LPG Equipment to Rural Households: The Case of Ghana's Rural LPG Promotion Program
○Kwame Adjei-Mantey(Kobe University)・Kenji Takeuchi(Kobe University)
討論者：川田恵介(東京大学)
- 3 The Impact of Short-term Exposure to Ambient Air Pollution on Test Scores
○Amanzade Naser(Waseda University and Sharif University of Technology)・
Mohammad Vesal(Sharif University of Technology)・Seyed Farshad Fatemi Ardestani
(Sharif University of Technology)
- 4 Does Higher Spatial Resolution of Identification Strategy can Detect Weaker Causal Effect of Forest Fire on Human Health in Indonesia?
○Gonang May Perdananugraha(Hiroshima University)・
Shinji Kaneko(Hiroshima University)
討論者：Kwame Adjei-Mantey(Kobe University)

Energy Policy (English Session) C会場(S14教室)

座長：花田真一(弘前大学)

- 1 Carbon Leakage or Bridging the Energy Efficiency Gap?: A Case of Japanese Emission Trading Scheme
○定行泰甫(早稲田大学)・有村俊秀(早稲田大学)
討論者：若林雅代(電力中央研究所)
- 2 Can the Subsidy Program Change the Customer Base of Next-generation Vehicles?
○王佳星(青山学院大学)・松本茂(青山学院大学)
討論者：定行泰甫(早稲田大学)
- 3 Analysis of the Effect of the Retail Electricity Market Deregulation on Gas Market
○花田真一(弘前大学)
討論者：大藤建太(会津大学)

再生可能エネルギー(1) D会場(S21教室)

座長：黒沢厚志(エネルギー総合工学研究所)

- 1 国内の電力需給における変動型再生可能エネルギーの導入状況～九州エリアにおける出力抑制の実績と評価～
○松原弘直(環境エネルギー政策研究所)
討論者：歌川学(産業技術総合研究所)
- 2 洋上風力発電事業における地域経済への影響について～地域付加価値分析からわかる洋上風力発電事業の特徴～
○山東晃大(京都大学)
討論者：諸富徹(京都大学)
- 3 全国市区町村の再生可能エネルギー施策の効果分析
○徳武雅也(筑波大学)・藤井康平(神奈川大学)・奥島真一郎(筑波大学)・山下英俊(一橋大学)
討論者：中山琢夫(京都大学)
- 4 洋上ウインドファーム促進区域の設定に関するシミュレーション
○明石健吾(千葉大学)
討論者：木村啓二(自然エネルギー財団)

エネルギー・大気汚染 E会場(S22教室)

座長：杉野誠(山形大学)

- 1 東京都内の中小規模オフィスにおける省エネポテンシャルの推計
○藤井康平(東京都環境科学研究所)・片野博明(東京都環境科学研究所)
討論者：石倉研(龍谷大学)
- 2 温暖化対策における短期的費用緩和措置の効果の比較～2011年国内産業連関表を用いた分析～
○杉野誠(山形大学)
討論者：松本健一(長崎大学)

3 An Experimental Investigation of Electricity Conservation Behavior Induced Effect by Nudge

○田中健太(武蔵大学)・庫川幸秀(金沢星稜大学)・石原卓典(京都大学)・依田高典(京都大学)・赤尾健一(早稲田大学)

討論者：三谷羊平(京都大学)

経済理論 F会場(S23教室)

座長：赤尾健一(早稲田大学)

1 自由参入のクールノー寡占における環境政策と環境技術の選択および公的企業の役割に関する研究

○于新志(龍谷大学)

討論者：赤尾健一(早稲田大学)

2 Running to Stand Still: Common Property and Inertia in the Spatial Commons

○阪井裕太郎(東京大学)・Joshua K. Abbott(Arizona State University)・

Alan Heynie(NOAA Fisheries' Alaska Fisheries Science Center)

討論者：飯田健志(福井大学)

3 Prices versus Quantities with Strategic Communication between Government and Polluting Industry

○宮岡暁(立正大学)

討論者：宮本拓郎(東北学院大学)

4 International Environmental Agreement as an Equilibrium Choice in a Differential Game

○赤尾健一(早稲田大学)・阪本浩章(千葉大学)・内田健康(早稲田大学)・

和佐泰明(早稲田大学)

討論者：宮岡暁(立正大学)

アジア・途上国(1) G会場(S31教室)

座長：大塚健司(アジア経済研究所)

1 地域間格差を考慮した中国における石炭火力発電効率性の動態分析

○江口昌伍(福岡大学)

討論者：藤井秀道(九州大学)

2 流域間連携政策としての導水事業の水質改善効果と影響

○柳橋泰生(福岡大学)・楊露(福岡大学)

討論者：江口昌伍(福岡大学)

3 エネルギー環境分野における日中第三国市場協力のポテンシャルに関する研究～日中印露の協力を事例に～

○朱家民(立命館大学)・凌奕樹(立命館大学)・周瑋生(立命館大学)・

銭学鵬(立命館アジア太平洋大学)・仲上健一(立命館大学)

討論者：李志東(長岡技術科学大学)

気候変動(1) H会場(S32教室)

座長：新澤秀則(兵庫県立大学)

- 1 Paris協定を達成する日本排出削減シナリオ
○外岡豊(埼玉大学名誉教授)
討論者：吉田肇(宇都宮共和大学)
- 2 最近の国際環境開発の動向分析とCO₂排出の方向性に関する一考察～所得水準グループ別の経済・社会・環境指標を例として～
○吉田肇(宇都宮共和大学)
討論者：山口光恒(地球環境産業技術研究機構)
- 3 IPCCの将来のあり方と気候変動対策のパラダイムシフト
○山口光恒(地球環境産業技術研究機構)
討論者：新澤秀則(兵庫県立大学)
- 4 パリ協定は環境十全性を保てるか～BaU比排出量目標を中心に～
○新澤秀則(兵庫県立大学)・秋田次郎(東北大学)・今井晴雄(大正大学)
討論者：高村ゆかり(東京大学)

廃棄物処理・リサイクル(1) I会場(S34教室)

座長：小島理沙(京都経済短期大学)

- 1 リファンド水準の異なるデポジット制度の余剰比較分析
○諏訪恵亮(株式会社りそな銀行)
討論者：野村魁(東北大学)
- 2 従量制によるごみ排出有料化の排出削減効果に関する実証研究
○野村魁(東北大学)・日引聡(東北大学)
討論者：石村雄一(京都経済短期大学)
- 3 Does Weight-based Pricing on Municipal Waste Contribute to Waste Reduction? Dynamic Panel Analysis in Flanders
○笹尾俊明(岩手大学)・Simon De Jaeger(KU Leuven)
討論者：山本雅資(富山大学)
- 4 家庭系食品ロスの経済的費用の推計
○小島理沙(京都経済短期大学)・石村雄一(京都経済短期大学)・
石川雅紀(NPOごみじゃぱん)・松岡夏子(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)・
菅幹夫(法政大学)・大橋博一(NPOごみじゃぱん)・竹内憲司(神戸大学)・
山口恵子(岡山大学)
討論者：笹尾俊明(岩手大学)

9月28日(土) 11:00-11:45 ポスターセッション(Poster Session)

各報告の要旨は、<http://www.seeps.org/meeting/2019/submit/program.html> からご覧頂けます。

ポスター会場(S11-14教室前ロビー)

- 1 送電部門における規制効果と再生可能エネルギー政策
○庫川幸秀(金沢星稜大学)
- 2 Preliminary Experiment about the Evaluation of Fixed-Quantity Classes that Utilized VR-HMD
○Aliff Firdaus(Akita University)・Yutaka Ito(Akita University)・Yohei Kawamura(Akita University)・Masato Takeuchi(Akita University)
- 3 村レベルの100%再生可能エネルギーによる地域付加価値創造分析
○中山琢夫(京都大学)
- 4 自治体による森林・林業政策をめぐる費用負担の分析～長野県財政を事例に～
○吉村武洋(長野大学)
- 5 日本における遺伝子編集植物技術発展のための戦略分析
○野島大輔(九州大学)・藤井秀道(九州大学)
- 6 利活用されやすい空き家の特徴とは?～東京都豊島区を事例として～
○金山友喜(早稲田大学)・定行泰甫(早稲田大学)

9月28日(土) 12:30-14:30 共通論題口頭セッション II (Oral Session II)

セッション名が英語表記のA会場からC会場における使用言語は英語です。

各報告の要旨は、<http://www.seeps.org/meeting/2019/submit/program.html> からご覧頂けます。

Natural Resource Management (English Session) A会場(S11教室)

座長: Chieko Umetsu(kyoto University)

- 1 How does Forest Ownership Influence Forest-related Subjective Well-being? A case study in the upper Yasu River Watershed, Shiga Prefecture, Japan
○高橋卓也(滋賀県立大学)・内田由紀子(京都大学)・石橋弘之(総合地球環境学研究所)・奥田昇(総合地球環境学研究所)
討論者: 藤原敬(林業経済研究所)
- 2 Measuring the Efficiency of Collective Floodplain Aquaculture of Bangladesh using Data Envelopment Analysis
○Yamin Bayazid(Nagasaki University)・Chieko Umetsu(Kyoto University)・Hironori Hamasaki(Nagasaki University)・Takayuki Miyanishi(Nagasaki University)
討論者: 藤井秀道(九州大学)
- 3 Designing a Voluntary Mechanism for Private Forest Conservation: An Empirical Test of Provision Point, Seed Money, and Social Interactions
○三谷羊平(京都大学)・寫田栄樹(京都大学)・Gorm Kipperberg(University of Stavanger)
討論者: 田中健太(武蔵大学)

4 Spatial Externalities, Policy Interventions, and Private Wildfire Risk Mitigation

○柚木崎直也(京都大学)・三谷羊平(京都大学)

討論者：西條辰義(総合地球環境学研究所)

Energy and Air Pollution (English session) B会場(S12教室)

座長：Moinul Islam(Hiroshima Univesity)

1 Effect of Grid-based Electrification on the Solar Electrified Rural Villages: Case Study of Bangladesh

○小松悟(長崎大学)・Shinji Kaneko(Hiroshima University)・

Partha Pratim Ghosh(Center for Social and Market Research)

討論者：中田俊彦(東北大学)

2 Leveraging External and Domestic Niches: The Protective Space in Taiwan's Wind Power Development from Onshore to Offshore

○陳奕均(京都大学)

討論者：Moinul Islam(Hiroshima Univesity)

3 An Analysis of the Interactions between Electricity, Fossil Fuel and Carbon Market Prices in Guangdong, China

○Xianbing Liu(Institute for Global Environmental Strategies (IGES))・

Zhen Jin(Institute for Global Environmental Strategies (IGES))

討論者：定行泰甫(早稲田大学)

4 Willingness to Pay for Reducing Indoor Air Pollution : Study of Rural Indian Households

○Mriduchhanda Chattopadhyay(Waseda University)

討論者：小松悟(長崎大学)

Sustainable Indices (English Session) C会場(S14教室)

座長：Mihoko Wakamatsu(Kyushu University)

1 Corruption, Institutions, and Sustainable Development : Theory and Evidence from Inclusive Wealth

○山口臨太郎(国立環境研究所)

討論者：Mihoko Wakamatsu(Kyushu University)

2 Sustainable City Development Measurement Based on Gridded Inclusive Wealth : a Comparison between Japan and China

○Bingqi Zhang(Kyushu University)・Mihoko Wakamatsu(Kyushu University)・

Shunsuke Managi(Kyushu University)

討論者：大沼あゆみ(慶応義塾大学)

3 Difference of Water Policy Efficacy across South African Water Management Areas

○Coulibaly Thierry Yerema(Kyushu University)・

Mihoko Wakamatsu(Kyushu University)・Moinul Islam(Hiroshima University)・

Fukai Hiroki(Kyushu University)・Shunsuke Managi(Kyushu University)・

Bingqi Zhang(Kyushu University)

討論者：山口臨太郎(国立環境研究所)

再生可能エネルギー(2) D会場(S21教室)

座長：堀史郎(福岡大学)

- 1 日本における再生可能エネルギーの「優先接続」論争の論理的帰結～EU指令および日本における政策決定過程からの示唆～
○道満治彦(立教大学)
討論者：安田陽(京都大学)
- 2 ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)を巡る課題と政策～農業委員会全国調査結果から～
○倉阪秀史(千葉大学)・馬上丈司(千葉エコ・エネルギー社)・浅井綾介(千葉大学)・石塚郁海(千葉大学)・江原荘麻(千葉大学)・中村巧(千葉大学)
討論者：野津喬(実践女子大学)
- 3 ドイツにおける発送電分離が再エネの導入に与えた影響
○杉本康太(京都大学)
討論者：高橋洋(都留文科大学)

企画：エビデンスに基づいた自然環境政策と経済分析の可能性

【企画：自然環境保全のEBPM(栗山浩一)】 E会場(S22教室)

座長：栗山浩一(京都大学) 討論者：井上和也(環境省)

- 1 富士北麓地域における観光客と登山者の周遊行動の違い
○藤野正也(山梨県富士山科学研究所)・長谷川達也(山梨県富士山科学研究所)・堀内雅弘(山梨県富士山科学研究所)・宇野忠(山梨県富士山科学研究所)・小笠原輝(山梨県富士山科学研究所)
- 2 国立公園の費用負担で考慮すべき観点の把握～ベスト・ワーストスケーリングによる評価～
○庄子康(北海道大学)・柘植隆宏(甲南大学)・栗山浩一(京都大学)
- 3 国立公園における入山料の経済分析
○栗山浩一(京都大学)・庄子康(北海道大学)・柘植隆宏(甲南大学)

自然災害 F会場(S23教室)

座長：中川真太郎(甲南大学)

- 1 Do Natural Disaster Impede Exports? Evidence from Cross-country Panel Data
○天畠華織(富山大学)・竹内憲司(神戸大学)
討論者：内田真輔(名古屋市立大学)
- 2 地震の被災額推計：産業連関分析による消費者余剰の損失評価
○八木迪幸(信州大学)・加河茂美(九州大学)・馬奈木俊介(九州大学)・藤井秀道(九州大学)・Dabo Guan(University of East Anglia)
討論者：近藤康之(早稲田大学)
- 3 公共財としての防災～リスク管理モデルからのアプローチ～
○中川真太郎(甲南大学)
討論者：阪井裕太郎(東京大学)

アジア・途上国(2) G会場(S31教室)

座長：大塚健司(アジア経済研究所)

- 1 中国における再生可能エネルギー導入推進策について考察
○車競飛(京都大学経済研究所)
討論者：知足章宏(フェリス女学院大学)
- 2 再生水取引制度の構築に向けて～中国の水資源改革への政策提言～
○張澤宇(東北大学)・佐藤正弘(東北大学)
討論者：柳橋泰生(福岡大学)
- 3 パーム農園の拡大が世帯厚生へ与える影響
○山本裕基(長崎大学)
討論者：横尾英史(一橋大学)
- 4 東アジアにおける地域環境ガバナンスの変容～トランスバウンダリー・ネットワークの発展に注目して～
○大塚健司(アジア経済研究所)
討論者：高橋若菜(宇都宮大学)

気候変動(2) H会場(S32教室)

座長：大堀秀一(関西大学)

- 1 カーボンプライミング政策の導入が地域経済に及ぼす効果・影響について～大阪府・台湾における産業連関表を用いた考察～
○竹谷理志(京都大学)・王敦彦(京都大学)・山東晃大(京都大学)・何彦旻(追手門学院大学)
討論者：小嶋公史(地球環境戦略研究機関)
- 2 Should we Control CO₂ Emission for Each Area in a Region?
○玉置哲也(香川大学)・野澤亘(福岡大学)・馬奈木俊介(九州大学)
討論者：中嶋一憲(兵庫県立大学)
- 3 埼玉県の排出量取引が技術普及に及ぼした影響に関する実証分析
○浜本光紹(獨協大学)
討論者：伊藤康(千葉商科大学)
- 4 Burden Sharing and Self-enforcing Climate Agreements
○大堀秀一(関西大学)・太田勝憲(和歌山大学)
討論者：赤尾健一(早稲田大学)

廃棄物処理・リサイクル(2) I会場(S34教室)

座長：笹尾俊明(岩手大学)

- 1 官民連携による農村都市の生活ごみ処理システムに関する研究～浦江県新型PPPモデル事業を事例として～
○千暎娥(立命館大学)・兪紅珍(島精機製作所)・
張 沖(加百列バイオテクノロジー有限公司)・周瑋生(立命館大学)・仲上健一(立命館大学)
討論者：西久保裕彦(長崎大学)

- 2 フリマアプリに対する若者の利用実態に関する研究～日中比較を中心に～
○李瑩瑩(千葉大学)
討論者：吉田綾(国立環境研究所)
- 3 土浦市の生ごみ分別収集制度はいかに導入されたか
○吉田綾(国立環境研究所)・高橋若菜(宇都宮大学)・伊藤俊介(東京電機大学)・
沼田大輔(福島大学)
討論者：笹尾俊明(岩手大学)
- 4 いわゆる中レベル放射性廃棄物の処分に関する研究～北米の状況～
○西久保裕彦(長崎大学)・菊池英弘(長崎大学)
討論者：大島堅一(龍谷大学)

9月28日(土) 14:45-16:45 企画セッション(Organized Session)

セッション名が英語表記のA会場・B会場における使用言語は英語です。

各報告の要旨は、<http://www.seeps.org/meeting/2019/submit/program.html> からご覧頂けます。

**企画：International Session I – Climate Change and its Impacts on Markets :
Korea, Taiwan and Japan(English Session)(常務理事会) A会場(S11教室)**

座長：Akira Hibiki(Tohoku University)

- 1 A Review of International and Korean EV Policies and Implications
○Dongsoon Lim(Donggeui University)
- 2 Risk Premium, Climate Premium and Pollution Premium in Taiwan's Labor Market
○Daigee Shaw(Institute of Economics, Academia Sinica)
- 3 Global Warming and its Impact on the Agricultural Sector
○Akira Hibiki(Tohoku University)・Huey-Lin Lee(National Chengchi University)・
Yasuaki Hijioka(National Institute for Environmental Studies)

**企画：Reducing Water and Material Consumption, and Improving Air Quality
for the Sustainable Future in East Asia[Sustainable Future in East Asia(知
足章宏)](English Session) B会場(S12教室)**

座長：Hector Pollitt(Cambridge Econometrics)

討論者：高橋若菜(宇都宮大学)、杉野誠(山形大学)

- 1 Interaction between Energy and Material Consumption in East Asia
○Hector Pollitt (Cambridge Econometrics)・Mary Goldman(Cambridge Econometrics)・
Yanmin He(Otemon Gakuin University)・Soocheol Lee(Meijo University)
- 2 Sustainable Use of Water Resources in East Asia
○Kiyoshi Fujikawa(Nagoya University)・Hector Pollitt(Cambridge Econometrics)・
Zuoyi Ye(Shanghai University)・Soocheol Lee(Meijo University)
- 3 Transboundary PM Air Pollution and its Impact on Health in East Asia
○Akihiro Chiashi(Ferris University)・Soocheol Lee(Meijo University)・
Hector Pollitt(Cambridge Econometrics)・Unnada Chewpreecha(Cambridge Econometrics)・

Pim Vercoulen (Cambridge Econometrics) ・ Yanmin He (Otemon Gakuin University) ・
Bin Xu (Meijo University)

企画：電力システム改革下における地域分散型エネルギーシステムへの転換に関する課題と展望(1)

【地域分散型エネルギーシステム(1)(大島堅一)】 C会場(S14教室)

座長：高村ゆかり(東京大学) 討論者：山下英俊(一橋大学)

- 1 地域温暖化対策の可能性
○上園昌武(島根大学)・歌川学(産業技術総合研究所)
- 2 再生可能エネルギーの普及による地域経済効果～福島県を対象とした拡張地域間産業連関表に基づく定量分析～
○林大祐(立命館大学)・下田充(日本アプライドリサーチ研究所)・
歌川学(産業技術総合研究所)・稲田義久(甲南大学)・大島堅一(龍谷大学)・
竹濱朝美(立命館大学)・上園昌武(島根大学)
- 3 日本の太陽光発電の発電コストに関する分析
○木村啓二(自然エネルギー財団)
- 4 再生可能電源の大量導入による2030年の電力需給解析、広域送電の検証
○竹濱朝美(立命館大学)・歌川学(産業技術総合研究所)

企画：環境政策史:その多様な手法に学ぶ

【環境政策史—その多様な手法に学ぶ(喜多川進)】 D会場(S21教室)

座長：喜多川進(山梨大学)

討論者：遠藤崇浩(大阪府立大学)、新嶋聡(立教大学)、伊藤康(千葉商科大学)、喜多川進(山梨大学)

- 1 古文書及びGISを活用した近世地下水コモンズ規制の復元～福東輪中の株井戸を例に～
○遠藤崇浩(大阪府立大学)
- 2 環境政策史研究におけるオーラル・ヒストリーの活用法～公人のオーラルを素材として～
○新嶋聡(立教大学)
- 3 環境政策史研究における社史・社内報の利用
○伊藤康(千葉商科大学)
- 4 環境分野の一次史料収集の可能性と課題
○喜多川進(山梨大学)

企画：Eco-DRRの経済学的課題 — 不確実性と政策展開

【Eco-DRRの経済学的課題(大沼あゆみ)】 E会場(S22教室)

座長：大沼あゆみ(慶應義塾大学) 討論者：山口臨太郎(国立環境研究所)

- 1 Eco-DRRにおけるハイブリッドインフラの経済学的特徴と機能の理論分析
○大沼あゆみ(慶應義塾大学)
- 2 防災効果とその不確実性に対する市民の評価
○柘植隆宏(甲南大学)・庄子康(北海道大学)・栗山浩一(京都大学)
- 3 新たな森林管理システムの下での持続可能な林業経営とグリーンインフラ～京都府綾部市の企業を事例として～

○河田幸視(近畿大学)・畑中英樹(京都府中丹広域振興局)・
幹田秀和(特定非営利活動法人間伐材研究所)

- 4 諸外国と日本におけるグリーンインフラの政策的位置づけ
○西田貴明(京都産業大学)

企画：農地の生態系サービス支払(PES)における定量分析

【農地のPESにおける定量分析(田中勝也)】 F会場(S23教室)

座長：田中勝也(滋賀大学) 討論者：西澤栄一郎(法政大学)、久保雄広(国立環境研究所)

- 1 農業環境施策における行為支払いと結果支払いに対する農家の選好
～赤トンボ(Sympetrum)の保全を例に～
○黒川哲治(法政大学)・西澤栄一郎(法政大学)・田中勝也(滋賀大学)
- 2 環境直接支払における結果に基づく支払いの可能性～オークション実験による効率性分析～
○上松愛実(名古屋大学)・田中勝也(滋賀大学)・Uwe Latacz-Lohmann(キール大学)
- 3 環境保全型農業による外部費用が農家の環境保全型農業採択の意思決定に与える影響
○堀江哲也(上智大学)・田中勝也(滋賀大学)
- 4 環境保全型農業に取り組む農業経営体の要因の分析
○岡川梓(国立環境研究所)・堀江哲也(上智大学)

企画：ESGプロジェクトの現在地:地球環境ガバナンス研究の最前線と研究アジェンダを俯瞰する

【地球環境問題の最先端社会科学(石井敦)】 G会場(S31教室)

座長：石井敦(東北大学)

- 1 Earth System Governance Projectの現在地と新科学計画
○石井敦(東北大学)
- 2 ESGプロジェクト第一期10年の実績と今後の展望
蟹江憲史(慶應義塾大学)、○川本充(慶應義塾大学)
- 3 将来予見型ガバナンスと日本のエネルギー選択の政治過程～新ESG研究アジェンダの事例研究～
○太田宏(早稲田大学)

企画：次世代自動車と交通から考える低炭素社会

【次世代自動車と交通(吉田謙太郎)】 H会場(S32教室)

座長：吉田謙太郎(九州大学) 討論者：山本充(小樽商科大学)

- 1 水素社会への転換～社会技術トランジション・システム理論からのアプローチ～
○青柳みどり(国立環境研究所)・尾崎立子(ウインチェスター大学)・
フレッド・ステュワード(ウェストミンスター大学&インペリアル・カレッジ・ロンドン)
- 2 燃料補給利便性と燃料電池車購入に関する消費者意識
○板岡健之(九州大学)・吉田謙太郎(九州大学)・広瀬雄彦(九州大学)・木村誠一郎(九州大学)
- 3 アジアの都市交通システムと日本の役割
○諸賀加奈(九州大学)
- 4 次世代自動車と自動運転への消費者選好
○吉田謙太郎(九州大学)

企画：パリ協定目標達成に向けた世界と日本の動き：世界と日本の2050年自然エネルギー100%シナリオ、長期戦略、石炭火力訴訟【パリ協定目標達成に向けた世界と日本(明日香壽川)】
I会場(S34教室)

座長：明日香壽川(東北大学)

討論者：西岡秀三(地球環境戦略研究機関)、甲斐沼美紀子(地球環境戦略研究機関)、
松原弘直(環境エネルギー政策研究所)、西村六善(元外務省地球環境大使)

- 1 世界と日本の2050年再エネ100%供給シナリオ比較
○槌屋治紀(システム技術研究所)
- 2 2050年にむけたエネルギー消費・CO₂排出削減シナリオ
○歌川学(産業技術総合研究所)・外岡豊(埼玉大学名誉教授)
- 3 仙台パワーステーション裁判の論点～他の公害訴訟や気候変動関連訴訟との比較および今後の展開～
○明日香壽川(東北大学)

9月28日(土) 17:00-17:45 総会(L棟 L4教室)

総会終了後、交流会会場に向かう貸切バス乗り場にご案内いたします。

9月28日(土) 19:00-21:00 交流会(懇親会)

<場所>ウェディング エルティ 2階 ハートン・シェラールーム

※交流会会場までのアクセスについては、30ページの「交流会(懇親会)会場へのアクセス」の欄をご覧ください。

<次第>(2019年9月中旬時点)

- a. 司会挨拶(南部和香(青山学院大学))
- b. 環境経済・政策学会 会長挨拶(日引聡(東北大学))
- c. 台湾環境資源経済学会 会長挨拶(Daigee Shaw(台湾中央研究院経済研究所・台湾大学))
- d. 韓国環境経済学会 理事挨拶(Dongsoon Lim(東儀大学))
- e. 福島県双葉町長挨拶(伊澤史朗(環境経済・政策学会2019年大会 公開シンポジウム 基調講演))
- f. 乾杯挨拶(中井勝己(福島大学 学長))※福島大学の日本酒「結」(生酒)で乾杯
- g. 歓談
- 福島県の様々な料理を味わって頂けるように準備いたします
- 今日の料理の紹介(林薫平(福島大学 食農学類))
- h. 2020年大会実行委員長挨拶(李秀澈(名城大学))
- i. 2019年大会実行委員長挨拶(沼田大輔(福島大学 経済経営学類))

<料理・飲物の例(2019年9月中旬時点)>

- ・福島牛ロースト カルパッチョ仕立て
- ・福島エゴマ豚ロースト
- ・伊達鶏スピエディーノ(串焼き) ～会場でお焼きいたします～
- ・会津地鶏の甘辛煮

- ・めひかりの唐揚げ ～会場でお焼きいたします～
- ・本日の魚料理(相馬松川浦の青海苔ソース)
- ・福島名産の取り合わせ(いか人参、会津にしん山椒漬、紅葉漬)
- ・福島立子山凍み豆腐と鮑 季節野菜の炊き合わせ
- ・末廣みずは(冷酒)、奥の松(燗)

9月29日(日) 9:00-11:00 共通論題口頭セッション III (Oral Session III)

セッション名が英語表記のA会場からC会場における使用言語は英語です。

各報告の要旨は、<http://www.seeps.org/meeting/2019/submit/program.html> からご覧頂けます。

Natural Disaster (English Session) A会場(S11教室)

座長：内田真輔(名古屋市立大学)

- 1 Is there a Hidden Cost on Labeling Disaster-prone Land Asset?: Evidence from massive disaster in Japan
○一ノ瀬大輔(立教大学)・山本雅資(富山大学)
討論者：Kenji Takeuchi(Kobe University)
- 2 Does Natural Disaster Affect Alcohol Consumption in the Long Run?: Natural Experiment from the Great East Japan Earthquake
○柿本大輝(AD Planner Co.)・内田真輔(名古屋市立大学)
討論者：籠橋一輝(南山大学)
- 3 Direct and Indirect Impacts of Flood and Climate Change Adaptation in Indonesia: AIM/CGE
○Ambiyah Abdullah(National Institute for Environmental Studies)・Toshihiko Masui
(National Institute for Environmental Studies)
討論者：山崎雅人(名古屋大学)

Climate Change (English Session) B会場(S12教室)

座長：Soocheol Lee(Meijo University)

- 1 Review on the Validity of CO₂ Reduction Measures and Future Direction of Emission Reduction in Logistics Field
○近江貴治(中村学園大学)
討論者：新澤秀則(兵庫県立大学)
- 2 Drivers of Green Bond Market Development: The Importance of Nationally Determined Contributions to the Paris Agreement
○Clarence Tolliver(Kyushu University)・Alexander Ryota Keeley(Kyushu University)・Shunsuke Managi(Kyushu University)
討論者：Moinul Islam(Hiroshima University)
- 3 Growth Potential for CO₂ Emissions Transfer by United States-China Trade Battle
○Moinul Islam(Hiroshima University)・Keiichiro Kanemoto(Research Institute for Humanity and Nature)・Shunsuke Managi(Kyushu University)
討論者：Clarence Tolliver(Kyushu University)

4 中国における炭素排出権取引制度パイロット事業から全国统一市場へ～EU-ETSとの比較を通じて～

○凌奕樹(立命館大学)・周瑋生(立命館大学)・銭学鵬(立命館アジア太平洋大学)・仲上健一(立命館大学)

討論者：Soocheol Lee(Meijo University)

Business and Environment (English Session) C会場(S14教室)

座長：在間敬子(京都産業大学)

1 The Role of Business Succession in Environmental Behaviors of Family SMEs

○史天意(早稲田大学)・井口衡(京都経済短期大学)・片山東(早稲田大学)

討論者：在間敬子(京都産業大学)

2 Divestment Trends in Japan's International Coal Businesses

○Trencher Gregory(Tohoku University)・Downie Christian(Australian National University)・長谷川宏一(東北大学)・明日香壽川(東北大学)

討論者：八木迪幸(信州大学)

3 Incentives and Barriers and for Energy Efficient Investment: Evidence from Japanese Firms

○Naonari Yajima(Waseda University)・Toshi H. Arimura(Waseda University)・Emiko Inoue(Kyoto University)

討論者：Trencher Gregory(Tohoku University)

自然資源管理 D会場(S21教室)

座長：大久保彩子(東海大学)

1 中大規模建築物の木材利用の環境性能評価～東京2020会場の地域材(国産材)利用促進のレガシーとしての可能性～

○藤原敬(ウッドマイルズフォーラム)・滝口泰弘(ウッドマイルズフォーラム)

討論者：坂本有希(地球・人間環境フォーラム)

2 農業における生物多様性は市場価格に反映されているのか～稲作における生物指標検討と販売価格の比較～

○高橋みゆき(東北大学)・田島亮介(東北大学)・井元智子(東北大学)

討論者：吉田謙太郎(九州大学)

3 The Value of Natural Capital and its Determinants in Japan

○熊谷惇也(九州大学)・若松美保子(九州大学)・馬奈木俊介(九州大学)

討論者：松本茂(青山学院大学)

4 Why Anti-whaling Norms Fail to Preserve Whales : Three Hypotheses

○大久保彩子(東海大学)・石井敦(東北大学)・真田康弘(早稲田大学)

討論者：若松美保子(九州大学)

環境評価 E会場(S22教室)

座長：柘植隆宏(甲南大学)

- 1 努力最小限化行動を考慮した環境評価額の検討
○井元智子(東北大学)・大床太郎(獨協大学)
討論者：柘植隆宏(甲南大学)
- 2 世界遺産登録の厚生分析～奄美大島を例にして～
○蒲谷景(東京大学)
討論者：諏訪竜夫(山口大学)
- 3 海水浴場におけるレクリエーション活動を対象としたリスク削減便益の計測
○奥山忠裕(下関市立大学)
討論者：森田玉雪(山梨県立大学)
- 4 世帯レベルデータを用いた日本の電力需要の価格弾力性推計
○尾沼広基(早稲田大学)・松本茂(青山学院大学)
討論者：松本健一(長崎大学)

企業と環境 F会場(S23教室)

座長：丸山佳久(中央大学)

- 1 University Students' Preferences for Labor Conditions of a Mining Site : Evidence from Australia
○見上柊人(秋田大学)・伊藤豊(秋田大学)・Hyongdo Jang(Curtin University)・Abbas Taheri(The University of Adelaide)・田中健太(武蔵大学)・川村洋平(秋田大学)
討論者：川田恵介(東京大学)
- 2 Consideration on CMA to Achieve Corporate's Goal of Carbon Reduction : Link Life Cycle Assessment and Material Flow Cost Accounting
○劉思瑶(横浜国立大学)
討論者：丸山佳久(中央大学)
- 3 企業の気候変動行動に関する考え方～日本企業へのアンケート調査から～
○堀史郎(福岡大学)・近藤加代子(九州大学)・早瀬百合子(九州大学)・畢亦凡(九州大学)・松野新世(九州大学)
討論者：小谷勝彦(国際環境経済研究所)
- 4 Environmental Finance概念の明確性に関する一考察～Environmental Finance研究の整理・体系化に向けた基礎として～
○大田和哲也(埼玉大学)
討論者：粟屋仁美(敬愛大学)

観光・交通 G会場(S31教室)

座長：平原隆史(千葉商科大学)

- 1 観光客参加型の世界遺産の保全に関する研究～富岡製糸場を対象として～
○木村文哉(秋田大学)・伊藤豊(秋田大学)・松井敏也(筑波大学)・宍戸英彦(筑波大学)・
北原格(筑波大学)・川村洋平(秋田大学)・森嶋厚行(筑波大学)
討論者：田中健太(武蔵大学)
- 2 観光客数と自然資源の関係について～離島を対象にしたパネル・データ分析～
○横濱柊介(早稲田大学)・功刀祐之(松山大学)・有村俊秀(早稲田大学)
討論者：藤田陽子(琉球大学)
- 3 自動運転は自動車利用を促進するか？～家計調査を用いた実証分析～
○岩田和之(松山大学)・馬奈木俊介(九州大学)
討論者：北野泰樹(青山学院大学)
- 4 個人の移動能力と定住傾向に関する環境負荷の地域移転の可能性～市川市での住民アンケート
に見られる交通過疎地への個人的対応～
○平原隆史(千葉商科大学)
討論者：岩田和之(松山大学)

企画：カーボンプライシングの制度オプションの検討：二重の配当の可能性

【企画：カーボンプライシングと二重配当(有村俊秀)】 H会場(S32教室)

座長：有村俊秀(早稲田大学)

討論者：一方井誠治(武蔵野大学)、李秀澈(名城大学)、朴勝俊(関西学院大学)

- 1 2011年次世代エネルギーシステム分析用産業連関表の作成と応用分析～炭素税課税方法の検討～
○鷺津明由(早稲田大学)
- 2 応用一般均衡モデルによる日本の環境税制改革の分析
○武田史郎(京都産業大学)
- 3 日本における環境税制改革と家計への還元
○有村俊秀(早稲田大学)・木元浩一(早稲田大学)
- 4 炭素税の企業経営に与える影響分析
○浅川賢司(Institute for Global Environmental Strategies(IGES))

国際資源循環 I会場(S34教室)

座長：小島道一(東アジア・ASEAN経済研究センター)

- 1 今後、廃プラスチックはどこで処理されるのか？～中国による廃プラスチック輸入禁止措置
と国際貿易パターンに関する計量経済分析～
○石村雄一(京都経済短期大学)・宮本舞(関西外国語大学)・竹内憲司(神戸大学)・
山本雅資(富山大学)
討論者：西嶋大輔(福島大学)
- 2 雑品スクラップの国内資源循環に向けた課題
○寺園淳(国立環境研究所)・小口正弘(国立環境研究所)
討論者：小島道一(東アジア・ASEAN経済研究センター)

- 3 廃プラスチックに関する貿易規制と資源循環～バーゼル条約附属書改定の意義～
○小島道一(アジア経済研究所)
討論者：寺園淳(国立環境研究所)

9月29日(日) 11時15分－11時45分 授賞式(L4教室)

受賞者につきましては、授賞式において発表いたします。

9月29日(日) 13:00－15:15 (受付開始12:30)(L4教室)

公開シンポジウム(Public Symposium)

「原子力災害からの復興政策の検証～被災地域の再生を考える～」

全体司会：藤原 遥(福島大学)

挨拶：日引 聡(東北大学)

第1部 基調講演(各20分)

- ・伊澤史朗(双葉町長)「原発事故による被害からの復興状況と課題」
- ・岡本全勝(内閣官房参与、福島復興再生総局事務局長)
「原発被災からの復興－これまでとこれから」

第2部 問題提起・パネル討論

<問題提起(15:30－17:30の公開企画セッションより)>(各10分)

- ・松岡俊二(早稲田大学アジア太平洋研究科教授)
「1F廃炉の先(end state)を考える：福島復興知と社会イノベーション」
- ・除本理史(大阪市立大学大学院経営学研究科教授)
「被災者の現状と福島復興」
- ・小山良太(福島大学食農学類教授)
「食と農の再生と地域復興」

<パネルディスカッション> 60分

コーディネーター：寺西俊一(帝京大学経済学部教授)

パネラー：伊澤史朗、岡本全勝、松岡俊二、除本理史、小山良太

※公開シンポジウムの趣旨等の詳細は、2019年大会ホームページの公開シンポジウムの

チラシ http://www.seeps.org/meeting/2019/seeps2019sympo_f.pdf

ポスター http://www.seeps.org/meeting/2019/seeps2019sympo_p.pdf

あるいは、公開シンポジウム・企画セッションの予稿集(9月29日12時30分よりL4教室前で配付予定)をご参照ください。

9月29日(日) 15:30-17:30 公開企画セッション(Public Organized Session)

セッション名が英語表記のA会場における使用言語は英語です。

各報告の要旨は、<http://www.seeps.org/meeting/2019/submit/program.html> からご覧頂けます。

公開企画：International Session II – Energy Policy and its Impact on Household Economy : In the Case of Korea, Japan, and Taiwan(English Session)(常務理事会) A会場(S11教室)

座長：Shigeru Matsumoto(Aoyama Gakuin University)

- 1 Major Contents and Issues of Korea's Energy Basic Plan
○Kiju Han(Sejong University)
- 2 Measurement of the Opportunity Cost of Health Risk, the Value of Time and Rebound Effect of Energy Efficiency Improvement:the Household Production Approach with Stochastic Health Care
○Chung-Huang Huang(National Taipei University)
- 3 Efficiency Investments and Curtailment Actions:Complement or Substitute
○Shigeru Matsumoto(Aoyama Gakuin University)・Hajime Sugeta(Kansai University)

公開企画：原発災害からの復興に向けて:自治体財政と空間計画

【復興政策における自治体財政と空間計画(除本理史)】 B会場(S12教室)

座長：除本理史(大阪市立大学) 討論者：山川充夫(福島大学)

- 1 福島原発事故からの復興政策と財政～避難指示12市町村の財政分析に基づいて～
○井上博夫(岩手大学)
- 2 原発災害からの環境被害回復と復興に向けた自治体財政運営の課題～南相馬市における「参加型予算」の実態と可能性を中心に～
○関耕平(島根大学)
- 3 福島原発事故被災自治体に対応する復興財政政策の論理と実態～産業立地政策を中心に～
○藤原遥(福島大学)
- 4 福島原発被害後の空間計画の様相
○窪田亜矢(東京大学)

公開企画：電力システム改革下における地域分散型エネルギーシステムへの転換に関する課題と展望(2)

【地域分散型エネルギーシステム(2)(高橋洋)】 C会場(S14教室)

座長：高村ゆかり(東京大学) 討論者：諸富徹(京都大学)、服部徹(電力中央研究所)

- 1 2011年以降のエネルギー政策の進展と原子力発電のコスト
○大島堅一(龍谷大学)
- 2 2019年3月期に全原発を廃止した場合の財務的影響
○金森絵里(立命館大学)
- 3 電力システムと電力市場の設計思想～欧州と北米の相違と日本への示唆～
○安田陽(京都大学)

4 電力システム改革の発展形態としてのセクターカップリング

○高橋洋(都留文科大学)

公開企画：福島復興知を考える：原子力災害からの地域再生と社会イノベーション

【福島復興知とは何か？(松岡俊二)】 D会場(S21教室)

座長：松岡俊二(早稲田大学)

**討論者：明日香壽川(東北大学東北アジア研究センター)、柳川玄永(三菱総合研究所)、
五十嵐泰正(筑波大学)、永井祐二(早稲田大学)**

- 1 原子力災害による森林汚染と地域再生～森林生態学から復興知を考える～
○大手信人(京都大学)
- 2 原子力災害からの環境再生と地域再生～専門知は復興知へ如何に貢献しうるか～
○森口祐一(東京大学/国立環境研究所)
- 3 福島復興における社会イノベーションと地域の持続性～専門知と地域知から福島復興知を考える～
○松岡俊二(早稲田大学)・朱鈺(早稲田大学)・Choi Yunhee(早稲田大学)・
山田美香(早稲田大学)・李洸昊(早稲田大学)

公開企画：再生可能エネルギーを活用した持続可能な農山村経済：国際比較研究を展望して

【再生可能エネルギーと持続可能な農山村経済(山川俊和)】 E会場(S22教室)

座長：山川俊和(下関市立大学) 討論者：細田衛士(中部大学)、倉阪秀史(千葉大学)

- 1 再生可能エネルギーと農村経済の発展戦略～ドイツ・バイエルン州の現地調査と日本への示唆～
○藤谷岳(久留米大学)・松本貴文(下関市立大学)・山川俊和(下関市立大学)
- 2 〈木質バイオマス経済〉の現状と課題～岩手県の事例から～
○佐藤一光(岩手大学)・斉藤崇(杏林大学)・吉弘憲介(桃山学院大学)

公開企画：日中韓の原発政策と原発安全規制制度：原発リスクから安全な社会に向けて

【日中韓の原発政策と安全規制(李秀澈)】 F会場(S23教室)

座長：周瑋生(立命館大学) 討論者：伴英幸(原子力資料情報室)、山崎雅人(名古屋大学)

- 1 日本の原発政策と原発安全規制制度～原子力リスクから安全な社会に向けて～
○李秀澈(名城大学)・周瑋生(立命館大学)・崔鐘敏(ソウル大学)・河津早央里(立命館大学)・
伊順眞(ソウル大学)
- 2 韓国の原発政策と原発安全規制制度～福島原発事故がもたらした影響と評価を中心に～
○崔鐘敏(ソウル大学)・伊順眞(ソウル大学)・李秀澈(名城大学)・河津早央里(立命館大学)・
周瑋生(立命館大学)
- 3 中国の原発安全規制制度の現状と課題
○河津早央里(立命館大学)・周瑋生(立命館大学)・李秀澈(名城大学)・崔鐘敏(ソウル大学)・
伊順眞(ソウル大学)

公開企画：なぜバックエンド問題の社会的合意は難しいのか：社会的受容性、可逆性、世代間公平性をめぐって【バックエンド問題の社会的合意(松本礼史)】 G会場(S31教室)

座長：師岡慎一(早稲田大学) 討論者：笹尾英嗣(日本原子力研究開発機構)、藤村陽(神奈川工科大学)、寿楽浩太(東京電機大学)

- 1 社会的受容性からみた市民の地層処分政策の選好要因：技術的安全性論だけでは社会的議論の形成は難しい
○山田美香(早稲田大学)・松岡俊二(早稲田大学)・李洸昊(早稲田大学)
- 2 HLW管理政策とフランスのCNDPの国民的討論～熟議民主主義はなぜ社会的合意に「失敗」したのか～
○Choi Yunhee(早稲田大学)・松岡俊二(早稲田大学)
- 3 なぜ地層処分の社会的合意は難しいのか～社会的受容性、可逆性、世代間公平性をめぐって～
○松本礼史(日本大学)・竹内真司(日本大学)・師岡慎一(早稲田大学)・勝田正文(早稲田大学)・黒川哲志(早稲田大学)・井上弦(長崎総合科学大学)

公開企画：SDGs、地域循環共生圏、再生可能エネルギーによるガバナンスの再構築：東日本大震災後の持続可能な将来ビジョンに向けて【東日本大震災後の持続可能な将来ビジョン(辻岳史)】 H会場(S32教室)

座長：日引聡(東北大学) 討論者：五味馨(国立環境研究所)

- 1 ローカルSDGs～目標設定・計画策定・指標整備と進捗評価～
○川久保俊(法政大学)
- 2 再生可能エネルギーによる地域社会の構造的再生～理論枠組の設定と地域実践での活用～
○白井信雄(山陽学園大学)

公開企画：原子力災害から食と農と暮らしの再生

【食と暮らしの再生(藤野正也)】 I会場(S34教室)

座長：藤野正也(山梨県富士山科学研究所)

討論者：菅野正寿(二本松東和遊雲の里ファーム)、丹波史紀(立命館大学)

- 1 福島森林と農業における循環構造の再構築
○金子信博(福島大学)
- 2 東電原発事故による福島県沿岸漁業全面自粛からの復興過程と今後の論点
○林薫平(福島大学)
- 3 食と農の再生と新たな地域づくり
○小山良太(福島大学)
- 4 東京電力福島第一原子力発電所事故後の国内の意識変化と海外の意識の変化～福島をめぐる状況はどう変わったか？～
○関谷直也(東京大学)

表紙の写真の説明(Front Page Photos Explanation)

被災地域における農林水産業の現状 (文責：藤原 遥(福島大学 経済経営学類))

(上)相馬港

福島県内の漁業は、依然として試験操業の段階であるが、本格操業の再開に向けた歩みを進めている。毎週200検体前後のモニタリング検査を行い、試験操業対象品目は、2019年8月現在、出荷制限魚種の5種を除くすべての魚介類となっている。2019年7月に富岡漁港の利用が再開され、県内にある10の漁港すべてが再開した。

しかしながら、福島県漁連によれば、2018年の福島県内の水揚げ量は、2010年比で15%に留まっている。8年半の間に流通構造が大きく変化してしまったことにもなう課題も大きい。さらに、福島第一原発で溜まり続けている、トリチウムを含むALPS処理水の処理・処分の行方が、漁業の復興に暗い影を落としている。

(中)川内村の里山

里山の管理や資源の利用については、課題が多い。福島県では2013年度から森林整備と放射性物質対策として、ふくしま森林再生事業が実施されている。同事業の開始にともない、相双地方において森林整備が進んだが、森林整備の総面積は2010年度比14%に留まっている。

福島県はシイタケなどのきのこ栽培用原木の一大優良産地であった。一部の地域では出荷制限が解除されたが、多くの地域で原木の出荷は今も停止している。2019年2月現在、中通りと浜通りの17市町村では原木シイタケ(露地栽培)が出荷制限され、野生のキノコは会津地方の3町村を除く県内全域で出荷あるいは摂取制限がされている。

(下)広野町の稲穂が実った水田

2019年産米については、帰還困難区域を除くすべての地域で作付制限が解除された。復興庁福島復興局によると、2019年産米の作付面積は3,877haで震災前の39%まで回復する見込みとされている。

出荷対象となる福島県産米は全量全袋検査されている。ふくしまの恵み安全対策協議会によると、2015年産米以降、基準値100Bq/kg超過はゼロであり、自主基準25Bq/kgを下回る割合は99.9%である。

米の価格は事故後大きく下がったが、2018年産米の価格は全国平均のマイナス2.1%にまで回復した。価格を牽引しているのが業務用の需要である。全農福島が扱う分では業務用比率が80%を超えた。業務用であれば国産と表示され、買い控えの影響を受けにくいという側面がある(『朝日新聞』2019年3月29日付)。一方で、小売販売用家庭用米よりも業務用米のウェイトが高くなったことは、福島県産米としてのブランドの価値が毀損されたことも意味する。

セッションの進行ルール(Session Rule)

<共通論題口頭・(公開)企画セッション>

- ・各セッション会場には、備え付けのパソコン・プロジェクタ・ポインタを準備いたします。備え付けのパソコンはA-F会場はWindows10(パワーポイント2016、PDF2019)、G-H会場はWindows8(パワーポイント2013、PDF2019)、I会場はWindows10(パワーポイント2016、Adobe Acrobat Reader DC)を予定しています。また、各会場前に配付資料を置いて頂ける場所を設置します。
- ・セッションでパソコンを使われる方(討論者・座長を含む)は、セッション開始前に、用意されたパソコンのデスクトップにある、ご自身のご報告のセッションのフォルダに、USBメモリなどでファイルをコピーし、ファイルを開くことができ、プロジェクタを通じてスクリーンに投影できるかをご確認ください。
- ・ご自身のパソコンでの投影につきましては、いずれのセッション会場にも、常設のプロジェクタに接続できるケーブルとして、VGAケーブル、HDMIケーブル(タイプA)が両方ありますので、それらをご利用ください。なお、Mac系のパソコンでは、うまく表示できない場合があるとのことです。セッション開始前にご自身の報告会場においてプロジェクタに適切に投影できるかをご確認ください。
- ・ご自身の報告・討論に際しては、発表者自らがパソコンを操作し、発表を行ってください。
- ・各セッションでは、1つの報告につき、報告時間20分+討論者コメント5分+討論者のコメントへの応答とフロアからの質疑応答5分、計30分を基本とします。タイムキーパーは、報告時間終了5分前と報告時間終了時を報告者にお知らせします。また、タイムキーパーは、各セッションの終了時刻を座長にお知らせします。座長におかれましては、セッション中に会場を移動する方々のことを踏まえ、できるかぎり、この基本の時間どおりの進行のほど、お願いいたします。
- ・各セッション会場は基本的に80人程度の座席のある講義室で、備え付けのマイクはありません。一方、パラレルセッション数は9で、持ち運びできるアンプマイクは7台あります。このため、マイクをご希望の会場にのみ、アンプマイクを設置します。フロアの皆様におかれましては、できるだけ前に座って頂くこと、報告者の皆様におかれましてはできるだけ大きな声でご発表頂きますようお願いいたします。
- ・セッションでは、座長の指示にしたがってください。座長は適切に報告・討論が行われたかなどについて、大会スタッフがお渡しするセッション実施書に記入し、大会スタッフを通じて大会本部に提出してください。

<ポスターセッション>

- ・2019年9月28日(土)の11:00までに、ポスターセッション会場(S棟1階のA-C会場前のロビー)の、各自のポスター番号が掲示されたパネルに自身のポスターを掲示してください。各ポスター発表に、A0(84cm×119cm)のポスター1枚を掲示頂けるスペースを確保します。発表者用リボン・掲示に必要な画鋏は、大会本部(S28教室)で準備いたします。
- ・2019年9月28日(土)の11:00-11:45はポスターセッションのコアタイムです。この時間は、ポスターセッションの報告者のうちの1人が、自身のポスターの前に立ち、説明できるように願

いたします。

- ・2019年9月29日(日)の17:30まで、S棟1階のロビーにポスターを引き続き掲示頂けるようにします。それ以降に残っているポスターは、大会実行委員会で撤去させていただきます。
- ・コアタイムにおけるポスターの説明も含めて、プログラム委員会が厳正な審査を行い、2019年9月29日(日)11:15-11:45の授賞式の際に、優秀ポスターを表彰します。

大会会場について (On Conference Place)

・大会会場へのアクセス (Access to Conference Place)

福島大学へのアクセスは、福島大学のホームページの交通アクセスの欄(<https://www.fukushima-u.ac.jp/access/>)からご覧頂けます。大会当日の大会受付までのアクセスの詳細等は、2019年大会ウェブサイトに掲載の、「環境経済・政策学会2019年大会会場までのアクセスについて」(<http://www.seeps.org/meeting/2019/access.pdf>)に掲載しています。なお、2019年大会の会場である福島大学S講義棟およびL4教室の住所は、「〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地」です。

・大会会場の配置等 (Conference Place Layout, etc)

- 大会受付は、福島大学S講義棟入口です。受付開始は9月28日・29日ともに、午前8時です。なお、9月28日は午後4時までで、その後は交流会会場に受付を移します。交流会会場の受付は午後6時あたりからを予定しています。
- 共通論題口頭セッション・企画セッションいずれについても9会場あり、S棟1階にA・B・C会場、S棟2階にD・E・F会場、S棟3階にG・H・I会場があります。
- ポスターセッションは、A・B・C会場前のロビーです。
- 総会・授賞式・公開シンポジウムは、L棟のL4教室で行われます。
- 休憩室は、S棟1階はS13教室、S棟2階はS24教室、S棟3階はS33教室です。ごみの管理の観点から、S棟内での食事等はこれらの休憩室をご利用願います。なお、休憩室には、大会にご参加の皆様の電子機器の充電等にご活用頂けるように、延長コードを準備いたします。
- 理事会会場は、9月28日・29日ともに、S棟3階のS36教室です。
- 大会本部は、S棟2階のS28教室です。ご不明点、お困りごと等ございましたら、お越しく下さい。なお、大会本部には救急セットを準備いたします。
- 福島大学構内は、屋外・屋内ともに、全面禁煙となっております。喫煙スペースはございませんので、ご了承ください。

・大会期間中における大会本部と大会参加者の皆様との連絡について

- 大会期間中における大会本部から大会参加者の皆様への連絡については、S棟1階A-C会場前あたり、および、S棟2階D-F会場前あたりに表記します。パラレルセッションの座長の皆様に、セッション終了時に読み上げて頂きたい原稿等を大会実行委員会で適宜準備し、会場スタッフから座長にお渡しいたします。また、総会・授賞式・公開シンポジウムの最後あたりには、大会実行委員会から直接皆様に連絡事項等をお知らせいたします。

・大会会場での無線LAN接続方法 (How to use Wifi in Conference Place)

1. WEBブラウザでプロキシサーバの設定を無効にします。
Internet Explorerの場合は、以下のとおりとなります。
✓「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「LANの設定」→「LANプロキシサーバを使用する」チェックボックスをOFFにします。
 2. インターネットプロトコル(TCP/IP)の設定では、IPアドレスとDNSを自動的に取得する設定(DHCPによる自動割当の設定)にします。
 3. パソコンの無線機能を有効にし、無線LANの設定で、SSIDとWPAパスワードの設定をします。
✓SSID：SOCNET ✓WPAパスワード：FukushimaSoc13
※上記は大会期間中のみ有効です。
 4. WEBブラウザを開き、適当なホームページ等にアクセスします(電子メールしか使わない時も)
例：http://www.fukushima-u.ac.jp/
 5. 認証画面が現れるので、下記ユーザ名とパスワードを入力して「ログイン」をクリックします。
認証に成功すると、ネットワーク利用が可能になります。
✓ユーザ名：Gakkai0928 ✓パスワード：J7tKrwPH
※上記は大会期間中のみ有効です。
- cf. このWifiの同時利用可能人数は最大250です。また、Wifi電波が届かない場所があります。
- cf. eduroamはご利用になれませんので、ご了承ください。

・昼食・軽食・飲物等(Lunch, Snacks, Beverages, etc)

- 2019年9月28日(土)の昼食は、S棟から中央広場に出て、左手にある福島大学生協1階の食堂 Dining Reafを11時から14時まで利用できます。
- 2019年9月29日(日)は、午前11時から、弁当と飲み物のセットを、事前にお申込頂いた方に、S棟入口の大会受付で、引換券と交換でお渡しいたします。引換券は大会受付時にお渡しします。なお、引換券は、事前にお申込頂いた方のみお渡しさせて頂き、大会当日のお申し込みは受け付けられませんのでご容赦ください。
- 福島大学生協の購買店は、2019年9月28日(土)は9時30分から17時まで、2019年9月29日(日)は9時30分から14時まで営業の予定です。福島大学生協の購買店の外には、飲料や軽食の自動販売機もあります。
- ごみの管理の観点から、S棟内での昼食・軽食は休憩室(S13教室、S24教室、S33教室)をご利用願います。9月29日(日)の11:45-13:00まで(授賞式後から公開シンポジウム開始まで)はL4教室でも昼食をお取り頂けます。
- 福島大学から徒歩10分程度のところにあるJR金谷川駅周辺に、たとえば次の店もあります。
 - ◇ファミリーマート福島福大前店(福島県福島市松川町関谷字大窪4)(コンビニエンスストア)
 - ◇コンテナカフェ(福島市松川町関谷字大窪93)<https://sites.google.com/site/cafe-yagawa25/>
✓9月28日・29日ともに12:00-21:00に、「工房葉(こうぼう しおり)出張cafe」がオープン予定です
<https://www.facebook.com/koubou.shiori.0702/>
 - ◇SEKIYA COFFEE&GOOD TIMES (福島市松川町関谷字藤窪6-1)(ゆっくりコーヒー飲めます)
<http://sekiya-coffee.jugem.jp/>(9月28日・29日ともに、12:00-19:00)

- ◇たまごカフェ(福島県福島市松川町関谷字大窪47)(昼食、喫茶)
<https://tamagocafe.net/>(9月28日は10:00-15:00、9月29日は休業)
- ◇中華蕎麦 こばや(福島県福島市松川町関谷字坂下71)(ラーメン)
<https://tanatsumono.co.jp/kobaya/>
(9月28日・29日ともに、11:00-14:00、17:00-21:00)
- ◇たんぼぼ(福島県福島市松川町関谷大窪9)(定食、食堂、喫茶)
(9月28日は11:00-14:00、9月29日は11:00-20:00)

交流会(懇親会)会場へのアクセス(Access to Banquet)

場所：ウェディング エルティ 2階 ハートン・シェラールーム

(〒960-8055 福島市野田町1-10-41、0120-6188-39、<https://wltbq.jp/>)

※福島駅西口から高湯街道を西へ徒歩8分程度直進し、左手にあります。



※総会終了後、交流会会場に向かう貸切バス(4台手配しています)のご案内いたします。

※また、総会終了後に便利な電車として、JR金谷川駅18時22分発の仙台行きの下り電車があります。

この電車はJR福島駅に18時32分に到着します。

※ウェディング・エルティは、入口を入れて左手すぐのところにクロークがあり(番号札との交換制)、ご利用頂けます。また、交流会会場である2階 ハートン・シェラールームにも荷物置き場を準備いたします。

アンケートご記入のお願い(Request on Questionnaires)

本大会は、福島市役所様より、令和元年度コンベンション開催補助金を頂いております。このため、本大会に伴う福島市での皆様のご宿泊場所等を把握する必要があります。つきましては、本大会では、大会受付で、皆様に、宿泊アンケートを配付させて頂いております。大会にご参加の皆様におかれましては、この宿泊アンケートにご記入頂き、大会受付のアンケート回収箱、もしくは、福島大学の腕章を付けた大会スタッフ等にお渡し頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、福島市観光コンベンション推進室のコンベンション参加者アンケートも、大会受付時にお渡しさせて頂いております。大会にご参加の皆様におかれましては、こちらにもご記入の上、大会受付のアンケート回収箱、もしくは、福島大学の腕章を付けた大会スタッフ等にお渡し頂きますよう、お願いいたします。

ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2019年大会 プログラム委員会・大会実行委員会(2019 Committee)

環境経済・政策学会2019年大会 実行委員会

氏名	所属	担当
沼田 大輔	福島大学 経済経営学類	大会実行委員長
井上 健	福島大学 経済経営学類	会場
金子 信博	福島大学 食農学類	エクスカージョン等
小山 良太	福島大学 食農学類	シンポジウム等
笹尾 俊明	岩手大学 人文社会科学部	ホームページ、理事会等
佐藤 英司	福島大学 経済経営学類	受付
清水 晶紀	福島大学 行政政策学類	交流会等
高田 大輔	福島大学 食農学類	会場等
高橋 若菜	宇都宮大学 国際学部	託児等
南部 和香	青山学院大学 社会情報学部	交流会等
西崎 伸子	福島大学 行政政策学類	託児等
西嶋 大輔	福島大学 共生システム理工学類	弁当等
林 薫平	福島大学 食農学類	交流会等
藤野 正也	山梨県富士山科学研究所	エクスカージョン等
藤原 遥	福島大学 経済経営学類	シンポジウム等
堀江 哲也	上智大学 経済学部	前年度実行委員長
吉川 宏人	福島大学 経済経営学類	誘導等

環境経済・政策学会2019年大会実行委員会事務局

〒960-1296 福島県福島市金谷川1 福島大学 経済経営学類 沼田大輔研究室内
TEL&FAX: 024-548-8423 E-mail: numata@econ.fukushima-u.ac.jp
大会ホームページ <http://www.seeps.org/meeting/2019/>

金子 慎治	広島大学 大学院国際協力研究科	プログラム委員長
岩田 和之	松山大学 経済学部	
籠橋 一輝	南山大学 国際教養学部	
黒沢 厚志	エネルギー総合工学研究所	
後藤 大策	広島大学 大学院国際協力研究科	
小松 悟	長崎大学 多文化社会学部	
新熊 隆嘉	関西大学 経済学部	
竹内 憲司	神戸大学 大学院経済学研究科	
西谷 公孝	神戸大学 経済経営研究所	
東田 啓作	関西学院大学 経済学部	
藤倉 良	法政大学 人間環境科学部	
松八重一代	東北大学 大学院環境科学研究科	
宮岡 暁	立正大学 経済学部	
山本 雅資	富山大学 極東地域研究センター	
横尾 英史	一橋大学 大学院経済学研究科	
渡邊 理絵	青山学院大学 国際政治経済学部	

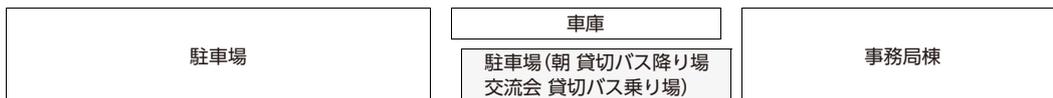
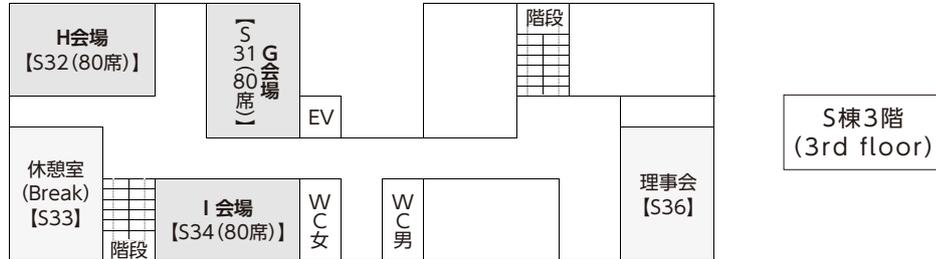
本大会は、国立大学法人 福島大学 様より、会場の無料提供をはじめ、多くの補助を頂いております。福島市役所様より、令和元年度コンベンション開催補助金、福島市の観光パンフレット・ビニールバッグ、福島駅西口の観光案内所前における2019年大会にご参加の皆様を歓迎するデジタルサイネージの掲出(日本語および英語)等、様々な支援を頂いております。福島県庁様より、令和元年度エクスカーション補助金などを頂いております。交流会会場のウェディング・エルティ様からも会場サービスなどについてご好意を頂いております。

また、エクスカーション・大会当日の朝の貸切バス・交流会までのバスの手配につきまして、吉田樹先生(福島大学 経済経営学類 准教授)および福島交通の多大なご協力を頂いております。エクスカーションにつきまして、守友裕一先生(元福島大学教授・宇都宮大学名誉教授)、福島県飯館村役場をはじめ、エクスカーションの受入先等の多くの方々にお世話になっております。公開シンポジウムにつきまして、福島県双葉町長の伊澤史朗様をはじめ、多くの方々にお世話になっております。

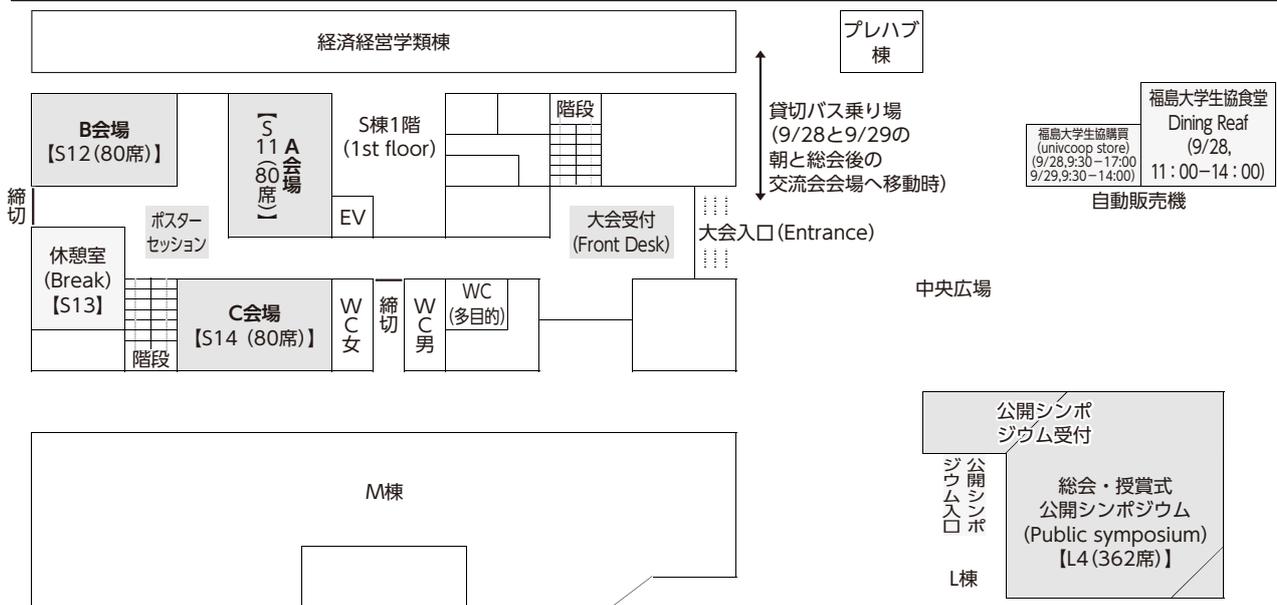
ここに記して謝意を表します。

2019年大会 会場地図 (Conference Place Map)

環境経済・政策学会 2019年大会 会場案内図



道路



大会全体スケジュール表 (Program Overview)

環境経済・政策学会2019年福島大会 全体スケジュール

会場 (S11教室) [80席]	A会場 (S12教室) [80席]	B会場 (S12教室) [80席]	C会場 (S14教室) [80席]	D会場 (S21教室) [80席]	E会場 (S22教室) [80席]	F会場 (S23教室) [78席]	G会場 (S31教室) [80席]	H会場 (S32教室) [80席]	I会場 (S34教室) [80席]	S13教室 S24教室 S33教室
9月27日(金)	11:45-19:00 エクスカーション「福島県飯舘村の現状と今後の展望」(福島駅西口バスターミナル集合・解散) 19:30-20:30 理事会 (於:福島市アクティブシニアセンターアオウゼ小活動室1)									
8:00	大会受付(8:00-16:00、於:S棟入口ロビー)									
9:00-11:00 共通論議 口頭セッションI	Non Market Valuation	Asia and Developing Countries	Energy Policy	再生可能エネルギー(1)	エネルギー・大気汚染	経済理論	アジア・途上国(1)	気候変動(1)	廃棄物処理・リサイクルリング(1)	
11:00-12:30	11:00-11:45 ポスターセッション/Poster session (於:S11-14教室前ロビー) 11:30-12:30 理事会 (於:S36教室) 11:45-12:30 昼食 (於:福島大学生協、休憩室(S13,S24,S33教室))									
12:30-14:30 共通論議 口頭セッションII	Natural Resource Management	Energy and Air Pollution	Sustainable Indices	再生可能エネルギー(2)	企業:自然環境保全のEBPM (栗山浩一)	自然災害	アジア・途上国(2)	気候変動(2)	廃棄物処理・リサイクルリング(2)	休憩室
14:45-16:45 企画セッション	International Session I: Climate Change and its Impacts on Markets: Korea, Taiwan and Japan (常務理事会)	Sustainable Future in East Asia (知足章宏)	地域分散型エネルギーシステム(1) (大島堅一)	環境政策史—その多様な手法に学ぶ(喜多川進)	Eco-DRRの経済学的課題 (大沼あゆみ)	農地のPESにおける定量化分析 (田中勝也)	地球環境問題の最先端社会科学 (石井敦)	次世代自動車と交通 (吉田謙太郎)	ハリ協定目標達成に向けた世界と日本 (明日香壽川)	
17:00-17:45 総会	総会 (於:L棟L4教室 [362席])									
19:00-21:00 交流会	交流会 (於:ウェディング エルテイ) (受付開始18:00あたり)									
8:00	大会受付(8:00-17:30、於:S棟入口ロビー)									
9:00-11:00 共通論議 口頭セッションIII	Natural Disaster	Climate Change	Business and Environment	自然資源管理	環境評価	企業と環境	観光・交通	企画:カーボンフライングと二重配当 (有村俊秀)	国際資源循環	
11:15-13:00	11:15-11:45 授賞式 (於:L棟L4教室[362席]) 11:45-12:45 理事会 (於:S36教室) 11:45-13:00 昼食 (於:L4教室、休憩室(S13,S24,S33教室))									
13:00-15:15 公開シンポジウム	公開シンポジウム (於:L4教室 [360席]) (受付開始12:30) 「原子力災害からの復興政策の検証〜被災地域の再生を考える」									
15:30-17:30 公開企画セッション	International Session II: Energy Policy and its Impact on Household Economy: In the Case of Korea, Japan, and Taiwan (常務理事会)	復興政策における自治体財政と空間計画 (除本理史)	地域分散型エネルギーシステム(2) (高橋洋)	福島復興知とは何か? (松岡俊二)	再生可能エネルギーな農山村経済 (山川俊和)	日中韓の原発政策と安全規制 (李秀澈)	バックエンド問題の社会的合意 (松本礼史)	東日本大震災後の持続可能な将来ビジョン (江岳史)	食とくらしの再生 (藤野正也)	休憩室

※英語名のセッションにおける使用言語は英語です。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含み、左用紙で印刷されています。